

第13回北広島市総合計画推進委員会 会議録

日 時	平成26年7月22日(火) 9:30~11:00
会 場	市役所本庁舎2階 会議室
出席委員	天羽 浩委員、澤井将美委員、鈴木聡士委員、武者加苗委員、桂 裕章委員
欠席委員	なし
市出席者	【政策調整課】川村裕樹課長、加藤丈博主査、杉原史惟主任 【行政推進課】川口昭広課長、杉山正一主査 【財 政 課】奥山俊明主査

1.開会

「委員の過半数が出席していることから、委員会が成立していること」を確認した。

2.会議録署名委員の選出

委員長の指名により、桂委員を第13回推進計画委員会会議録の署名委員としたい旨提案があり、了承された。

3.議事

【議案1】「住みたくなる地域づくりプロジェクト」の提言書(案)の意見交換
事務局から提言書(案)の説明後、意見交換を行い、下記のとおり提言書を修正した。
これを受けて事務局で修正し、委員長の最終校正により、提言書を提出することとした。

(修正箇所)

・提言書(案)3頁【具体的提言】3つ目

<修正前> 街路灯整備支援事業については、

<修正後> 夜間における防犯及び交通の安全確保を図るため、街路灯を設置・維持する自治会を支援する街路灯整備支援事業については、
【具体的提言】の4つ目と入れ替える

・提言書(案)5頁【具体的提言】1つ目

<修正前> 認知症支えあい事業の 市民への周知を強化するとともに、

<修正後> 認知症支えあい事業の 発信システムが有効に活用できる実行方法を構築するとともに

・提言書(案)5頁【具体的提言】3つ目

<修正前> 重点プロジェクトに位置付けられている事業の 対象とした事業であるが、子育て世代の若い女性にとって住みやすい環境をテーマとした事業を実施していく必要がある。

<修正後> 「住みよい環境づくり」に位置付けられている事業の 対象とした事業であり、現在取り組んでいる子育て世代の若い女性を対象とした事業を重点プロジェクトに位置付けて、情報発信することが必要である。

第13回北広島市総合計画推進委員会 会議録

・提言書(案)7頁【今後に向けた提言】2つ目

<修正前> 地域交通システム検証事業については、既存の公共交通を再編し、新たな公共交通システムの構築の検討が必要である。

<修正後> 地域交通システム検証事業については、地域の要望や意見を聞いた中で、新たな公共交通システムの構築が要請されている。

・提言書(案)7頁【具体的提言】1つ目

<修正前> 除雪については、ハード(道路除雪)とソフト(福祉除雪)を組み合わせる実施することが重要であり、積極的に進めることが住みたくなる地域に近づくことから検討が必要である。

<修正後> 除雪については、福祉ボランティアだけではなく、除雪のなり手を確保する取組を行うとともに、住みたくなる地域に近づけるためにも、ハード(道路除雪)とソフト(福祉除雪)を組み合わせる実施することが重要であり、検討が必要である。

・提言書(案)9頁【今後に向けた提言】1つ目

<修正前> 地球環境に配慮した生活環境の保全を図るため、

<修正後> 地球温暖化対策として、

・提言書(案)9頁【具体的提言】1・2つ目を統合

<修正後> 省エネ・エコを推進するためには、太陽光システムだけの補助ではなく、幅広く有効な再生可能エネルギーへの支援を検討するとともに、金融機関と連携して再生可能エネルギーシステム導入費用の返済サポート体制を構築する必要がある。

・提言書(案)9頁【具体的提言】3つ目を追加

<修正後> LED電灯は長寿命であり、節電効果にも有効であることから、街路灯整備支援事業については、LED電灯の市場での仕様や価格の状況の把握に努め、LED電灯の単価や自治会の負担の在り方などについて、一定の方針を策定する必要がある。

4. その他(次回開催日程についてなど)

「住みたくなる地域づくりプロジェクト」の提言がまとまったことから、次回の推進委員会については、9月中旬以降で開催することとした。

5. 閉会

会議録署名委員
